

令和6年度 清水町立清水中学校 学校だより

六華の教え

自立・共生・協力
・挑戦・探求・創造



令和6年6月27日 第15号文責 校長 内田得裕

いじめについて

いじめ防止対策推進法が2013年10月に制定され、それを受け道教委や市町村教育委員会、学校はそれぞれいじめに対する基本方針を策定し、いじめの未然防止

といじめが発生した場合の対応についての組織的取り組み内容を明確にするようになりました。その背景には、2011年学校側がいじめはなかったとして適切な対応をしなかったことが原因で起こった大津市中2いじめ自殺事件が2012年になって発覚して、大きく取り上げられたことが契機となっています。学校は、「すべての生徒が安心して学校生活を送り、様々な活動に取り組むことができるよう、学校の内外を問わず、いじめが行われなくなるようにしなければならない」という基本理念を持つと共に「いじめはどの学校でも、どの学級にも、どの児童生徒にも起こりうる」という危機意識・基本認識に立ち、生徒が互いの違いを認め合い、支え合い、健やかに成長できる環境づくりを進めていかなければなりません。本校では、いじめの未然防止として、年2回の「いじめアンケートの実施」「教育相談の実施」「Q-U検査の実施」、「道徳・特別活動での取り組み」「生徒会によるいじめ撲滅宣言」等を実施しています。「いじめ」や「からかい」と思われる情報が出た場合、組織的に情報収集を実施し早急に解決するよう努めています。しかし、いじめは学校内外を問わず発生することがあります。是非、「いじめと思われる」または「目に余る行為」等がありましたら、学校への連絡をお願いいたします。大事な大事な子どもたちの夢を実現させるため、学校・保護者・地域が一体となり周りの大人すべてで支えていきたいと思えます。

また、今年4月に子ども基本法が施行され、子どもに関する政策を決める際、当事者の意見を聴くことを義務づけています。こども家庭庁では子どもたちの意見が伝えやすい環境づくりに努めているようです。本校でも生徒の意見をしっかり聴き、その思いを少しでも実現できように取り組んでいきたいと思えます。

「あなたはいじめられて悔しい思いをしているだろう。涙を流しているかもしれない。その涙は恥ではない。有史以来の英雄もどんな人でも、泣いたことのない人など、ひとりもないはずだ。絶望しないでほしい。いつか笑う日がくることを信じてほしい。あなたの人生ははじまったばかりだ。目の前には、時間という宝物がある。無限大の可能性がある。未来は両手を広げてあなたを待っている。人はみんな何かをなしとげるために生まれてくる。それぞれ果たすべき役割がある。自分は何のために生まれてきたのか。それはいまわからなくてもいい。必ずわかる 때가くる。いずれ、自分はこうなりたいという夢が見えてくる。それが、どんなに大きな夢でも恥ずかしくはない。夢は、大きければ大きいほどよい。年をとればとるほど、夢は縮んでいく。だから夢の土台は大きくかまえないといけない。あざけられたり、ひやかされたりしてもかまわない。いちど見つければ、あとは夢があなたを支えてくれる。だれに何を言われても気にしないでいい。大人には時間がない。あなたにはある。なにより自分の人生は自分で決めるべきものだ。さびしくなったら、ひとりぼっちではないことを思い出してほしい。お父さんとお母さんがいたから、あなたがいる。お父さんとお母さんも、そのお父さんとお母さんがいたから、生まれてきた。あなたの体の中には、ものすごい数の先祖代々の思いと夢がつまっている。あなたは、それほど多くのものを受け継いでいる、とても大切な人間なのです。」

漫画家・松本零士さん（朝日新聞2006年12月16日掲載）

吹奏楽部活動



吹奏楽部は6月16日に清水文化センターにてフレッシュコンサートを開催しました。このコンサートは新しく入った1年生に経験を積んでもらうことを一番の目的として行われています。今年も新得中学校との合同開催です。また WIND'S さんにも



助けていただき楽しいコンサートとなりました。1年生は緊張感がにじみ出ていながらもとても頑張っていました。そしてその1年生を温かい目と演奏で支えてくれる2・3年生がとても微笑ましく感じました。このようにつながれていくのですね。7月には吹奏楽祭、そして8月には吹奏楽コンクールがあります。吹奏楽部にとって今が一番の頑張り何処ですね。kitara を目指してファイト！！



地域探究学習



6月24日に1年生は十勝清水学の一環として地域探検学習に出かけました。清水教育委員会の全面バックアップの下、農業・商工業・観光・福祉医療・子育て・行政

・教育・歴史の8グループに分かれ、清水町についてたっぷり学習しました。普段何気なく生活している清水町では、どんな政策が行われ、町の活性化を目指している人たちはどんな思いなのかなど、直接話を聞く貴重な機会を得ることができました。生徒たちは真剣なまなざしでしっかり聞くことができました。さあ次は自分の番です。今の中学生時にできること、そして将来大人になってできること、一人一人が考え行動に移してください。

今回の学習にて、阿部町長をはじめ多くの方にご協力いただきました。お忙しい中、本当にありがとうございました。



宿泊学習

6月18日(火)～19日(水)に、2年生が国立日高青少年自然の家で1泊2日の宿泊学習を行いました。活動のスローガン「和」



を常に意識して、日高アドベンチャーや日高町内フォトラリー、野外炊飯、沢登りを行いました。天候に恵まれ、元気いっぱいに行動することができました。日高アドベンチャーのお題をクリアしてみんなで盛り上がったことやフォトラリーで道に迷ったこと、野外炊飯のカレーライスがなかなかできなかったこと、沢登りのラストの急斜面で滝をかき分けて岩を登ったことなどすべてが良い思い出となることでしょう。

い出となることでしょう。

日高の職員の方からは「高校生でもなかなかクリアできない課題について、学年みんなで創意工夫し、協力して達成して感心しました。」や「(炊事後の)後片付けが丁寧ですばらしい。」というお褒めの言葉をいただきました。



この宿泊学習を通して、2年生の生徒みんなが様々な場面で学年華の「挑戦」を意識して行動している姿を見ることができました。今後の2学年の成長がとても楽しみです。



7月行事予定 部活動等の記録

- 6日 全十勝夏季中体連大会
野球・卓球・剣道
- 6日 少年の主張十勝大会
- 7日 全十勝夏季中体連大会
野球・サッカー・柔道・バスケ
- 8・9日 3年家庭科ふれあい体験
- 12日 授業参観日
- 13日 全十勝夏季中体連大会
野球・サッカー・卓球・バスケ
- 14日 全十勝夏季中体連大会
野球・サッカー・バスケ
- 18日 3年総合 高校説明会
- 19日 クリーン作戦
- 20日 全十勝夏季中体連大会バレー
- 21日 全十勝夏季中体連大会バレー
- 25日 終業式
- 26日～8月20日 夏季休業

6月は十勝春季大会そして西部南部夏季大会と毎週激戦が繰り広げられました。その中で、陸上競技の篠原奏さんが200mで、水泳の大西璃衣さんが100m平泳ぎで全道大会への出場を決めました。おめでとうございます。

また、西部南部夏季大会では、春季大会では全く勝てなかった野球部は泉弥久雲さんの活躍もあり優勝。昨年、道東大会を制した勢いがやっと戻ってきました。バドミントン部は男子団体・男子シングル・男女ダブルスの4種目で優勝。十勝大会でも上位進出が期待できます。

7月は3年生にとって最後となる夏季十勝大会が行われます。今まで練習の成果を発揮し、力のすべてを出し切ってくださいね。



☆全十勝中学校対抗陸上競技大会 6 / 8・9

篠原奏 3年100m 6位 13"60、
200m 準決勝組 3位 27.61 (全道大会出場)
榊蓮 走高跳 7位 1m45

☆全十勝中学校水泳大会 6 / 9

大西璃衣 100m 平泳ぎ 1位 1.40.53 (全道大会出場)

☆全十勝中学校春季卓球大会 6 / 8

団体戦 男子 予選リーグ敗退
女子 予選リーグ敗退

☆全十勝中学校春季野球大会 6 / 8

● vs 翔陽・帯四中 2 - 3

☆全十勝春季バレーボール大会 6 / 8

○ vs 西陵中 2 - 0、● vs 下音更中 0 - 2

☆全十勝春季バスケットボール大会 6 / 8

○ vs 札内東中 70 - 56、● vs 南町中 42 - 90

☆西部・南部十勝中学校夏季大会 6 / 15・16・22・23

<卓球>

【団体戦】 男子 2位、女子 優勝

【個人戦】 女子 2位 高橋小春、3位 鎌塚友舞

<サッカー> 3位 ○ vs 更別・大樹中 4 - 0、● vs 広尾・中札内中 1 - 2、○ vs 鹿追 FC 3 - 1

<バドミントン>

【団体戦】 男子 優勝 ○ vs 芽室中 3 - 0、○ vs 芽室西中 2 - 0

女子 2位 広尾中 3 - 0 ● vs 芽室中 0 - 2

【個人戦】 男子シングル 優勝 伊藤快

ダブルス 優勝 村谷・室田組 2位 安藤・富田組

女子ダブルス 優勝 吉田・伊藤組

<バレーボール> 2位 ○ vs 更別中 2 - 0、○ vs 中札内中 2 - 1、● vs 芽室西中 0 - 2

<野球> 優勝 ○ vs 芽室・芽室西中 9 - 5、○ vs 広尾・大樹中 4 - 3

<バスケット> 2位 ○ vs 大樹中 73 - 65、● vs 芽室中 45 - 102

